



あさかわ まちづくりニュース

長野市浅川地区住民自治協議会 まちづくり計画推進委員会

令和4年6月1日 第49号 委員長・宮下文夫 編集・北條昭吾

真光寺浅川沿い遊歩道のU字溝フタ設置で県が現地調査



遊歩道U字溝設置で現地調査

ホタル祭りが行われる真光寺浅川沿いの遊歩道を横切るU字溝のふたは道の真ん中に設置されています。ホタル祭り時にU字溝へ落ちる危険があることから、5月11日(水)県と「チーム・フロンティア浅川」が現地調査を行いました。

現地調査には県浅川改良事務所から2人、浅川住自協「チーム・フロンティア浅川」から竹村会長、池田・西澤副会長など4名が立ち会いました。遊歩道を横断する3本のU字溝設置、泥等で埋まった壁側のU字溝清掃、遊歩道に降りる斜面階段の手すりをなくし草刈り時三輪車運搬用に使えるようコンクリートの手すり2ヶ所にトラロープを設置するよう県に要望しました。

U字溝ふた設置はほたる祭りやトレッキングを安心して散策することができます。

5月5日(木)真光寺南斜面の草刈りに16名が参加！



草刈り後の真光寺南の斜面

13本が若木の状態でした。

ハナモモが植えてある真光寺南斜面を「チーム・フロンティア浅川(竹村美岐雄会長)」が5月5日(木)午前7時から16名が参加し草刈りを行いました。

集まった会員は「湯谷大橋・ループ橋」間を1人1台の草刈り機で斜面に伸びた草を刈っていきます。

平成30年から「チーム・フロンティア浅川」がハナモモの植栽を行っています。今年のハナモモの満開は4月22日34本が咲き、

この斜面をハナモモの景勝地にしようと47本植えられています。そのうちシダレハナモモ

24本は鶴田軍蔵会員が苗木を増やして植えたものです。また笠原邦樹会員は今年3本のハナモモを寄贈したほか10本のハナモモを購入する手配をしました。



満開のハナモモ



ブランド薬師トレック客がぶどう園迷い込みで防止看板手配！



裏参道入り口 南はぶどう畑

ブランド薬師が多くの人に知れ渡るようになりました。そこでトレッキングや車で来る人たちが裏参道入り口を間違え、宋裕光さんのぶどう畑に迷い込み、中にはぶどう畑内でUターンする車があります。宋さんから『迷い込み防止』看板設置を要望され「チーム・フロンティア浅川」は早速看板設置の手配をしました。

宋さんのぶどう園では、1m位に伸びたぶどうから新芽が伸び、

秋にはぶどうの初収穫が見込まれます。6月5日(日)には浅川地区公民館連合会等主催の「区内めぐり」でぶどう畑を見学します。ぶどうが沢山実を付けた時には、浅川住民なども参加して収穫体験会などのイベントをしたいとの事です。

浅川小西校舎南ビオトープで児童がホタルの幼虫を放流！

4月20日(水)浅川小学校西校舎南のビオトープへホタルの幼虫とホタルの幼虫の餌になるカワニナが浅川小児童の手で放流されました。

浅川子どもプラザを利用する1年生児童27名が参加。カップに分けられたホタルの幼虫を持った児童はそっと水路に放流しました。

この放流には「チーム・フロンティア浅川」がホタルを購入し開催してきました。昨年まで購入していた戸隠の生産者が飼育をやめた為、市内安茂里のホタル愛好家に購入先を変更しました。

同プラザの木村修一郎施設長は「毎年1年生の恒例行事になっており、児童は楽しみにしている」との事です。6月上旬にはホタルが舞い見学者を楽しませることでしょう。



ホタル幼虫の放流

浅川小学校3年生、坂中の畑で恒例のジャガイモ植え付け体験

浅川小学校3年2組の児童22人は、4月21日(木)坂中住民有志18名の応援を得て恒例のジャガイモ植え付け体験を坂中の畑で行いました。



ジャガイモ植え付け体験

児童は住民有志が耕した畑で、ジャガイモの植え方を教わった後、1人5個のジャガイモと肥料を受け取ると、自分の名前のある掘ったうねに5個のジャガイモを置いていきます。

有志から「ジャガイモの横に肥料を置くと大きくなるよ」と教えてもらい肥料を置きました。

児童たちは急ぎよこの体験に来れなかった1組児童分のジャガイモも植え付けました。児童は「坂中の人に植え方教えてもらい楽しかった」「大きくなったジャガイモの収穫が楽しみ」など楽しい体験をしました。坂中住民有志は今後畑の草取り、土寄せなどを行い、3年生児童による収穫体験は夏休み明けの8月行われる予定です。

ジャガイモの植え付け体験、収穫体験は平成14年から行われているとの事です。